

令和6年度 社会福祉法人白梅学園 事業報告【全般】

1. 入退所児童等の状況

施設名	定員	年度初	入所数	退所数	年度末
乳児院	10人	3人	3人	0人	6人
児童養護施設	38人	34人	2人	8人	28人

2. 一時保護、ショートステイ等の受入れ状況

施設名	乳児院		児童養護施設	
	人数	延べ日数	人数	延べ日数
一時保護	13人	165日	3人	19日
ショート	16人	181日	10人	59日
トワイライト	0人	0日	1人	1日

3. 令和6年度の出来事

※月報にて毎月報告させて頂いておりますので割愛させていただきます。

4. 令和6年度末 子どもの動向（令和7年3月31日付）

(1) 入園・入学

松陵中学校 3名、気比中学校 1名、
 美方高校 1名、敦賀工業高校 1名
 嶺南東特別支援学校中等部 1名、
 嶺南東特別支援学校高等部 1名

(2) 卒業

松陵幼稚園 1名
 敦賀西小学校 3名、敦賀南小学校 1名、松原小学校 1名
 松陵中学校 1名
 敦賀気比高校 2名、敦賀工業高校 1名、
 嶺南東特別支援学校高等部 1名

(3) 就職・進学関係

就職：バロー木崎店 1名、名古屋東急ホテル 2名
 進学：京都医健専門学校 1名

5. 令和6年度実習生受入実績

実習受入校名	人数	実習受入校名	人数
京都華頂短期大学	5名	大阪保育福祉専門学校	2名
豊岡短期大学	5名	びわこ学院大学	2名
大原学園	2名	びわこ学院短期大学	2名
奈良保育学院	2名	京都文教短期大学	2名
仁愛大学	3名	滋賀短期大学	14名
仁愛女子短期大学	4名	滋賀文教短期大学	2名
大和大学白鳳短期大学	1名		

合計 13校 46人

6. 令和6年度に寄附をいただいた個人・団体名

No.	ご芳名	寄附等の内容	金額(円)
1	中島 正雄	子どものため	650,000
2	匿名	子どものため	5,000
3	花木 眞子	子どものため	17,200
4	内木 真由美	子どものため	15,000
5	高木 鈴子	子どものため	5,000
6	日本児童養護施設財団	子どものため	50,000
計			742,200

※令和6年度の物品寄附等については、随時白梅学園ホームページにて掲載させて頂いております。様々なご支援賜りありがとうございました。

乳児院 事業報告

1. 事業の目的

乳児院は、乳幼児総合支援センターとして、その機能をさらに充実強化（高機能化）し、かつ地域のニーズに応えることができるよう、従来の機能の見直しと可能な機能の付設（多機能化）による機能転換が求められている。

乳児院蓄舎として、養育の質の向上と支援の充実を図り、増加する虐待問題に対して予防的な取り組みや要支援家庭への継続的な支援、並びに、里親支援の拡充など幅広い事業を展開し、地域共生社会の実現に向けた中心的役割を担うことがその使命であると考えている。

その実現のために、職員個々のスキルアップ充実と組織の強化が必要であり、専門職集団としてのチームアプローチの重要性と情報の共有化を重点課題とし、市町に設置される「子ども家庭センター」との連携を図り、地域に必要な機能充

実を進め、福井県社会的養育推進計画の一翼を担う組織強化を図る。

2. 施設の現状

昨年度は、地域支援への対応強化を図る上から、改めて子どもの権利擁護について、以下のことを行った。

- ① 乳児院倫理綱領、蕾舎・舎訓の唱和
- ② より適切なかかわりをするためのチェックポイントによる振り返り

全乳協が定める「乳児院倫理綱領」は、すべての乳児院が旨とすべきことを乳児院全体の理念としてまとめたものがある。乳児院自らは、使命と役割の再確認及び意識醸成として、社会的には乳児院アピールの一手段として、内外に示すものです。また、「蕾舎・舎訓」は施設独自で作成した子どもの権利を守るための職員として心構えが示されており、これを基に、「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」を中心にフィードバックを行った。

また、市町においては虐待の予防的観点から「子育て短期支援事業」の利用勧奨を図ったことにより、敦賀市内はもとより、嶺南市町の利用件数が増加傾向となった。何よりリピーターが増加しており引き続き継続した支援に繋がるなど、虐待の早期発見・早期対応に向けた一歩を踏み出せた。今後も、利用者が安心してお預かり出来る家庭的な養育環境を提供できるよう励みたい。

3. 令和6年度 実績状況

①養育体制

ホーム名	定員	対象児	養育者	その他
すなお	5名	乳幼児	看護師・保育士	栄養士・FSW 事務員など
まこと	5名	乳幼児	看護師・保育士	

②令和6年度入退所実績表

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ホーム	3	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	6	
定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
一時保護	84	42	0	3	6	2	3	0	0	3	0	22	165
短期支援	18	16	16	11	15	15	11	11	25	23	18	19	198

※一時保護、短期支援事業は延べ日数

4. 養育支援

様々な研修を通じて、職員のスキルアップに努めてきた。子どもたち一人ひとりの養育支援計画表を作成し、それに基づいて子どもたちやその家庭の抱える諸問題をホーム会議や支援者会議、そしてカンファレンスを通して養育支援を行ってきた。特に、ダウン症児はこの間著しい成長が見られ、そのことが養育者に障害児に対する見識と養育への自信が感じられた期間となっている。

5. 家族支援と里親委託関係

- ・担当相談員は常に児童相談所と連絡を密にし、子どもの家庭引取や里親委託が進められるかアセスメントを行いながら進めた。
- ・育児不安や精神的問題を抱える母親に対しては、子どもと母親等との関係づくりのため、児童相談所と連絡を取りながら、慎重に面会や外出、外泊を進めてきた。

6. 養育支援計画・記録

- ・子ども一人ひとりに年2回（5月と11月）、各担当者が中心となり、養育支援計画表を作成している。家族の状態や子どもに対する家族の思いを聞き取り、児童相談所から提示された個別援助指針に基づいて、一人ひとりの短期目標および中期目標を作成し、全体としての養育支援計画表を児童相談所に折り返し送っている。
- ・日々の記録やグループ討議、カンファレンスで意見交換したものは併せて、情報共有ソフト「エフトス」に挙げながら活用している。

7. 関係機関との連携

- ・施設の役割や機能を達成するために、児童相談所との連携を適切に遂行し、定期的な情報共有や事例検討会議を通して、子どもの家族が抱える問題（課題）についての支援や問題解決への取り組みを行ってきた。
- ・各市町の要保護児童対策地域協議会（要対協）に積極的に出向き、地域の中で潜んでいる不適切な関わりをされている子どもの状況把握に勤め、個別ケース会議にも参加して対応を協議してきた。

8. 職員の資質向上

- ・職員の研修は、年度初めに研修計画（案）を発表し、施設長や養育主任（UL）を中心に援助技術の向上を目指した。勤務経験の浅い職員には新任研修等を、中堅職員にはそれに応じた研修を受講させる計画作成、様々な研修に参加させ資質向上に努めた。

9. 職員配置状況（年度初）

職 種	人 数	職 種	人 数	職 種	人 数
施設長	1 人	主任 (UL)	1 人	個別対応	1 人
事務員	1 人	家庭相談員	1 人	保育士	6 人
栄養士	1 人	看護師	1 人	調理員等	4 人
嘱託医(非)	1 人	常勤職員 17名	非常勤職員 1名	合計	18名

10. 令和6年度の職員の外部研修状況（一覧）

日時	研修名	場所	参加者
4/11	社会福祉法人有隣 施設見学	名古屋市	山本・上野
5/8	養育・権利擁護セミナー	大阪市	山本道次
5/22	心肺蘇生法講習会（普通救命講習）	管理棟 2F	対象職員
5/24	福井県社会福祉経営者協議会 研修会	県社協 4F	上野みゆき
5/28・6/5	救急救命講習（一般）	管理棟 2F	対象職員
5/30～31	東海北陸ブロック乳児院養育主任者会①	衆善会乳児院	上野・久保
5/31.7/5	里親・家庭・自立支援専門職員養成研修会	一陽	東上成美
6/25	ビジョントレーニング講習会（園内研修）	あらしき棟 2F	対象職員
6/27.28	中部ブロック児童養護施設・乳児院 合同研修会	名古屋市	山本・上野 坂井・大味
7/9.18	県社協キャリアパス対応チームリーダー 研修	福井市	岸本恵美
7/11.12	全国乳児院研修会 奈良大会	奈良市	山本・上野
7/16.19	児童福祉施設における暴力問題の理解と 対応	管理棟 2F	対象職員
9/30	園内研修「みんな元気になる解決志向アプ ローチ」	管理棟 2F	対象職員
10/12～13	全国里親大会 福井大会	芦原市	高木・岸本
10/18	東海北陸ブロック乳児院協議会栄養士会	管理棟 2F	酒井・大味
10/16.25	子育て世帯訪問支援事業訪問支援員研修	一陽	久保なをみ
10/27～29	天理教社会福祉施設連盟 全国大会	岐阜市	山本・久保
11/9～10	東海北陸ブロック乳児院養育主任者会	富山市	上野・久保
11/24	子育てセミナー	あいあいプラザ	
12/10～11	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	神戸市	上野みゆき
2/27～28	乳児院上級職員セミナー	ロフォス湘南	加藤真由
2/29	第12回乳児院医療・看護セミナー	灘尾ホール	加藤真由

11. 苦情解決に関する件数 0件

児童養護施設 事業報告

1. 事業の目的

白梅学園の基本理念に基づいた養育方針の実践を行い、家庭的養育の実現に向けた対応。

また、福井県社会的養育推進計画実施に伴い、本計画の基本理念である、①子どもの最善の利益を優先、②家庭養育優先の原則を中心に、計画期間である

令和2年から令和11年（10年間）に向けた対応を、今後の児童福祉施設に必要とされる事業と捉え、嶺南地区の地域ニーズ踏まえて優先的に推進を図る。

2. 施設の現状

今年、白梅学園は大きな転機を迎えました。長年にわたり尽力された塩野園長が逝去され、深い悲しみの中で職員一同は力を合わせ、子どもたちの安定した生活を守るために支え合いながら歩み続けました。この困難な状況のなかで、私たちの使命を再認識し、改めて施設の在り方を見つめ直す機会となりました。

子どもたちの養育向上に向けては、職員間のコミュニケーションを強化するべく、フィードバック体制の構築に注力しました。より円滑な連携を図りながら、日々のケアの質を高め、子ども一人ひとりに寄り添った支援ができるよう努めています。

また、福井県社会的養護推進計画の一環として、新事業および既存事業の拡充に向けた準備を進めました。職員は積極的に研修や学びの場を活用し、施設の高機能化・多機能化を目指して知識と経験を深めています。これにより、より柔軟で包括的な支援体制を整え、地域社会との連携を強めながら、子どもたちに最善の環境を提供することを目指しています。

変革の年となった今年度ですが、白梅学園は未来に向けて一歩ずつ前進していきます。これからも子どもたちの健やかな成長を支え、より良い施設づくりを目指して邁進してまいります。

3. 月別入所児童の推移（※月初の人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
本 体	22	22	21	21	21	21	21	21	21	20	22	22	
たんぽぽ	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
日 向	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	
合 計	34	34	33	33	33	33	33	32	32	31	33	33	
定 員	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
充足率	89.5	89.5	86.8	86.8	86.8	86.8	86.8	84.2	84.2	81.6	86.8	86.8	
一時保護	0	0	0	0	0	3	0	0	0	16	0	0	19
短期支援	4	0	2	5	7	7	2	0	5	2	1	24	59

※一時保護、短期支援事業は延べ日数

4. 職員配置状況

管理棟 事務所		晴喜館第2棟			晴喜館第3棟		
職名	配置	職名	めばえ	ふたば	職名	あおば	わかぎ
施設長	1	UL	1		UL	1	
事務員	1	保育士	3	3	保育士	3	3
家庭支援	2	指導員	0	1	指導員	0	1
里親支援	1	調理員等	1		調理員等	1	
心理士	1	管理宿直	1		管理宿直	1	
個別対応	1	地域小規模					
栄養士	0	職名	たんぽぽ	日向	正規職員 33名 非常勤 嘱託医 1名 管理宿直 4名 合計 40名		
嘱託医	1	UL	1				
特別指導員	1	保育士	3	1			
学習指導員	1	指導員	2	2			
自立支援	1	調理員	1	1			
		管理宿直	2				

5. 会議等

会議名	参加対象者	年間回数
全体会議	養護全職員	11回
組織経営会議	児童家庭支援センター・乳児・養護の支援者	11回
支援者会議	施設長・FSW・里専・心理・UL	35回
HL会議	施設長・FSW・里専・心理・UL・HL	11回
ホーム会議	ホーム職員（必要に応じて支援職員）	随時
専門委員会	アドバイザー：1名 委員：5～6名	随時
中高生会議	指導員 中高生児童	2回
三者協議	敦賀市児童福祉課・敦賀児童相談所・白梅学園	1回

6. 心理療法・家族支援・里親支援 実施状況

① 心理療法 毎日週 or 隔週 or 月1回 50分

内容（カウンセリング・プレセラピー・SST（アンダーコントロール））

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
対象児童	17	18	18	18	8	19	20	19	20	18	19	18	
延べ回数	39	39	41	36	8	44	46	48	42	42	49	42	476

② 家族支援

- ・対象家族 22 家族
- ・家庭引き取り 3 組 5 名

③ 里親支援

- ・里親サロン 12 回、嶺南サロン 5 回、福井サロン 1 回
- ・星の子のつどい 1 回
- ・ハピさとサークル 5 回
- ・里親家庭訪問 10 回
- ・ウィークエンドステイ利用 5 組 26 回
- ・ミニハピさとサークル 2 回
- ・里親基礎研修、登録前研修 3 回
- ・リクルート活動 3 回
- ・里親委託 1 名
- ・その他 フォスタリング機関との会議、ミーティング

7. 職員研修並びに関係機関との協働

月	行事内容	期日	会場	対象職員
4 月	社会福祉法人有隣 施設見学	11	名古屋市	山本達也
	第 17 回天理教社会福祉大会	17	天理市	山本道次
	第 1 回フォスタリング体制整備担当者会議	16	福井市	吉原恵里
	「福井県社会的養育推進計画」改定に関する ヒアリング	16	管理棟	山本達也、津田珠紀
	全養協 令和 6 年度養育・権利擁護セミナー	23	名古屋市	山本達也
	中部児童養護施設協議会 総会	24	名古屋市	山本道次
	福井県社会福祉法人経営者協議会 研修会	24	福井市	山本達也、河野普示代
	心肺蘇生法講習会（普通救命講習）	22	管理棟	対象職員
	里親支援・家庭支援・自立支援専門職員養成 研修	31	一陽	長友円華、山本菜々美
6 月	県社協キャリアパス対応生涯研修初任者コース	11. 12	R 研修	田中葵子、山田奈津美
	第 1 回福養協拡大施設長会議	18	ほほ咲み	山本達也
	ビジョントレーニング講習会	25	管理棟	園内研修
	中部ブロック合同研修会 名古屋大会	27. 28	名古屋市	河野普示代、田中葵子
7 月	県社協キャリアパス対応生涯研修初任者コース	1	福井市	田中葵子、山田奈津美
	里親支援・家庭支援・自立支援専門職員養成	5	一陽	長友円華、山本菜々美

		研修			
		県社協キャリアパス対応生涯研修チームリーダー	9. 18	福井市	長友円華、中尾仁知香
		全国若者自立支援プロジェクト中部ブロック開催	21	名古屋市	山本達也
		中部ブロック「人材確保セミナー」	22	名古屋市	山本達也、吉岡瑞希
		天理教社会福祉施設連盟 職員研修会	24. 25	天理市	藤原舞香、田中葵子
9月		児童入所施設・市町、県合同会議	5	美浜町	山本達也
		第1回ファミリーソーシャルワーク研修会	10. 11	葉山市	長友円華
		晴喜館園内研修「人との関わり方(案)」	30	管理棟	天理大学人文学部 心理学科教授金山元春
10月		第2回ファミリーソーシャルワーク研修会	6. 7	葉山市	木村茉希
		全国里親大会ふくい大会	12. 13	坂井市	吉原恵里
		子育て世帯訪問支援事業訪問支援員研修	16. 25	越前市	藤村敦子、吉岡瑞希
		第77回全国児童養護施設長研究協議会 石川大会	22. 24	金沢市	山本達也
		天理教施設連盟全国研修会 岐阜大会	27～29	美谷学園	津田珠紀、中村道子
11月		子育て世帯訪問支援事業訪問支援員研修	1	越前市	藤村敦子、吉岡瑞希
		中養協 指導職員研修会 富山大会	28. 29	富山市	東上直美、山本菜々美
1月		天理教社会福祉施設連盟 施設長研修会	25	天理市	山本達也
		中部児童養護施設協議会事務職員研修会	28	名古屋	大矢加奈、津田珠紀
3月		第8回FLECフォーラム		東京	山本達也、河野普示代

8. 主な行事

日付	行事名	開催場所	参加人数	
			職員	児童
4/20	敦賀ロータリークラブ交流会	敦賀フェリーターミナル	9	24
4/29	全教一斉ひのきしんデー	坂尻海岸	9	24
5/5	ゴールデンウィーク全体行事	松原海岸	15	20
5/	新任職員歓迎会(3日間)	市内	全員	
5/14	夏の野菜苗植え	本体施設	8	13
6/24	SNSを学ぼう・マネークリップ勉強会	管理棟2F	4	8
7/21	白梅学園 夏祭り(ALT参加)	白梅本体施設内	全員	全員

8/2.3	こどもおぢばがえり行事参加	奈良県天理市	2	6
8/3.4	こどもおぢばがえり行事参加	奈良県天理市	4	12
8/7	白梅合同海水浴	菅浜海水浴場	18	26
8/11, 22, 29	リース作り 己書メッセージ付き	管理棟 2F	9	
8/19	こどもたちのたすけあい festain わじま	輪島		3
10/13	ハロウィンメッセージカップ作り	管理棟 2F	3	8
10/14	白梅防災マルシェ	白梅学園	24	27
11/16	芋掘り招待行事（榎本康博氏より）	若狭町生倉	6	12
12/12	たくあん漬けを作ろう	本体施設	3	5
1/18、2/8	晴れ着でプロジェクト	一陽	1	1
2/8	バレンタインデーお菓子作り	管理棟	6	10
2/9	卒園生と語る会	管理棟	3	全員
3/20	白梅学園 お祝い会&お別れ会	あらかき棟	全員	全員
3/31	天理教越乃國団少年会総会	越乃國大教会	1	8

9. 苦情解決に関する件数 0件

児童家庭支援センター 事業報告

1. 令和6年度 事業目的

- ① 地域社会から信頼を得られるような子育てに関する相談活動を展開する。
- ② 敦賀児童相談所と連携して嶺南西部地区の家庭児童問題に対応する。
- ③ 乳幼児等の健診等に同席し、地域の親子関係状況等を見極める。
- ④ 児童相談所から指導委託を受けた子どもの家庭を見守るため、家庭訪問や児童家庭支援センターへの通所を繰り返しながら家庭再統合を円滑に行えるよう支援する。
- ⑤ 心理士は地域の対象児童およびその親の心理療法に寄与していく。また乳児院に出張して児童及びその親に対しても心理療法を活用していく。
- ⑥ 本体乳児院より家庭支援専門相談員を週2回出向させ、センター相談員や心理士と協力して、家庭児童問題に対応していく。また、本体施設（乳児院・児童養護施設）へショートステイや一時保護等へ誘う活動をする。
- ⑦ 本体里親支援相談員は、月に3回程度センターに出向き地区の里親推進活動を展開する。

2. 令和6年度 事業実績

I、地域・家庭からの相談に応じる事業

児童の保護者や関係機関から相談を受けた。保護者から相談を受けた場合は、関係機関に報告し、連携して支援を行った。関係機関との連携は、可能な限り、保護者の承諾を得て行った。また、必要に応じ、児童に対して、心理士が心理療法等を実施した。

① 月別相談実人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規受理人数	28	12	16	4	3	3	3	2	3	5	2	2	83
継続相談人数	0	21	32	21	28	23	29	21	31	35	35	37	313
月別相談実人数	28	33	48	25	31	26	32	23	34	40	37	39	396

② 月別相談延件数月別相談延件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話相談	39	47	52	39	29	29	39	27	35	45	27	68	476
来所相談	10	20	28	10	18	18	20	11	16	16	19	20	206
訪問相談	26	43	58	26	17	13	29	22	37	43	38	46	398
心理療法等	5	3	5	4	6	6	7	5	6	11	14	14	86
メール SNS 手紙相談	33	31	38	24	18	19	18	16	16	25	22	23	283
その他 (遭遇)	1	4	0	3	2	2	1	0	0	1	1	1	16
月別延件数	114	148	181	106	90	87	114	81	110	141	121	172	1465

③ 相談・指導内容の種別延件数相談・指導内容の種別延件数

養 護		保 健	障 害	非 行		育 成			その他	合 計	
虐待	その他			ぐ犯	触法	性格行 動	不登 校	適正 しつけ			
508	513	0	1	0	0	369	8	15	0	51	1465

④ 相談経路別受付延件数相談経路別受付延件数

県・市町村			児童福祉施設		保健所 および 医療機関	学校等	家族親戚	近隣知人	児童本人	18歳 以上人	里親 里子	その他	合計
児童相談所	福祉事務所	その他	保育所	その他									
53	0	330	31	16	6	103	591	3	314	11	0	7	1465

II、市町村の求めに応ずる事業

派遣依頼を受け、各事業運営に協力をした。

(1) 1歳6か月児健康診査および3歳児健康診査（小浜市）

親子関係や家庭環境等に関する相談・指導。カンファレンスに参加。相談員は、参加者の誘導を行いながら、親子の様子観察、保護者の話を聞いた。当センターで支援を行っている家庭については、保健師に事前連絡をして情報を共有しておく。また、健診の場で当センターを知り、相談につながることもある。

1歳6か月児健康診査

出席日：4/18、5/23、6/20、7/18、8/22、9/19、10/17、11/21、12/12
R7. 1/23、2/20、3/13（12回参加）

3歳児健康診

出席日：4/25、5/30、6/27、7/25、8/29、9/26、10/26、11/28、12/9
R7. 1/30、2/27、3/27（12回参加）

(2) 5歳児健康相談（小浜市）

親子関係の観察、アドバイス。カンファレンスに参加。相談員は、事後相談で診察内容の確認、保護者の相談に応じる。

出席日：5/16、6/5、7/11、9/12、10/10、11/12、12/10、R7. 1/16、2/13、
3/11（10回参加）

(3) あそびの教室「すまいる」（小浜市）

心身の発達に問題のある子どもを早期に把握し、適切な指導を行い健全な発達を促すとともに、保護者が子どもにあった関わりができるよう支援することが目的の事業である。

子どもの観察、保護者への育児のアドバイス、カンファレンスに参加。
出席日：4/12、5/10、6/7、7/19、8/27、9/13、10/4、11/8、12/10
R7. 1/10、2/7、3/11

III、児童相談所からの委託による指導

『福井県児童家庭支援センター指導委託実施要綱』が令和3年3月1日から施行された。今後は、要綱に沿っての支援を行っていくことになっている。

IV、里親等への支援

「嶺南里親フリートーク」を当センタープレイルームで開催（合計7回）。

V、地域支援事業（プレイルーム開放）

9時から17時まで地域の親子、子ども（18歳まで）に開放した。

開放回数：39回利用した子どもの延人数：57人（保護者：41人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実数	5	7	8	8	13	24	8	15	8	17	2	10	125
家族	3	3	5	5	6	12	4	4	8	9	1	5	65

3. 職員研修等

日時	研修名	場所	参加者
4/11	全児家セン協議会スタートアップ研修	東京	田中緋鶴
4/17	中部地区児童家庭支援センター協議会総会	岐阜市	田中・荒木
5/22	心肺蘇生法講習会（普通救命講習）	管理棟2F	対象職員
5/24	福井県社会福祉経営者協議会 研修会	県社協4F	上野みゆき
5/28.6/5	救急救命講習（一般）	管理棟2F	対象職員
5/31.7/5	里親・家庭・自立支援専門職員養成研修会	一陽	中道野乃花
10/16.25	子育て世帯訪問支援事業訪問支援員研修会	一陽	川内純子
11/20.21	全国児童家庭支援センター研究協議会三重大会	津市	山本道次
1/14	里親支援センター等人材育成プログラム	大阪市	中道野乃花
2/14.20	福井県社協 研修会	県社協	中道野乃花

4. 子どもの行事

※月報にて毎月報告させて頂いておりますので割愛させていただきます。

5. 苦情解決に関する件数 0件